

令和元年度第1回人間文化研究機構経営協議会 議事概要

- 日 時： 令和元年6月19日（水） 14:00～15:59
- 場 所： 自然科学研究機構及び情報・システム研究機構合同会議室
- 出席者： 大原、岸上、キャンベル、窪田、久留島、弦間、小松、佐藤（信）、佐村、サーラ、田窪、武田、長谷川、長谷山、平川、広渡、藤岡、宮崎、望月、安成、山本、李の各委員
- 陪席者： 小泉、二ノ宮の各監事、大崎機構長特別顧問、平井民博副館長
- 事務局： 監査室長、歴博、国文研、国語研、日文研及び地球研の各管理部長、本部事務局の総務課長、企画課長、財務課長、施設課長、企画課課長補佐、財務課課長補佐、その他関係職員

- 概 要：
- 議事に先立ち、機構長から新たに就任した委員等の紹介があった。また、事務局から、会議の定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認があった。

議 題： (議事概要)

(1) 平成30年度第4回議事概要について（資料1）

機構長から、平成30年度第4回経営協議会の議事概要について報告があった。

(審議事項)

(1) 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書について（資料2）

岸上理事から、資料2に基づき、平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について説明があり、審議の結果、了承された。なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 時系列で実績を並べたり、強みや特色をシンプルに示したりするなど、構成を工夫して資料の見える化を図ってほしい。
- ・ 若手、外国人、女性について記述が少ないのではないかと。また、具体的な数字や割合の記載を入れてほしい。

(2) 平成30事業年度決算について（資料3）

窪田理事から、資料3に基づき、平成30事業年度決算について説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 令和2年度概算要求について（資料4）

窪田理事から、資料4に基づき、令和2年度概算要求について説明があり、審議の結果、了承された。なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 予算の配分について、財務省による傾斜配分が行われるということだが、傾斜配分の方法等についてチェックしたい。また、研究活動の国策化に繋がるのではないかと危惧している。
- ・ 外部資金の獲得について、企業がベンチャービジネス等に目を向けつつある状況を利用できるとよい。

(報告事項)

(1) 総合人間文化研究推進センターにおける実施事業について（資料5）

窪田理事から、資料5に基づき、総合人間文化研究推進センターにおける実施事業について報告があった。

(2) 総合情報発信センターにおける実施事業について（資料6）

佐藤理事から、資料6に基づき、総合情報発信センターにおける実施事業について報告があった。また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 人文知コミュニケーターという言葉が機構外でも使用したい。
- ・ シンポジウムについて、地方のケーブル局等で放映するようにしてはどうか。
- ・ 海外のシンポジウムについては、政府の海外広報予算を利用できないか。予算上の理由で実行できないということがないように工夫してほしい。
- ・ 人文知コミュニケーターの任期は現在3年だが、特任助教に合わせて5年としてほしい。

(3) 人文系研究評価システム検討委員会における検討状況について（資料7）

窪田理事から、資料7に基づき、人文系研究評価システム検討委員会における検討状況について報告があった。また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 機構が連携している国際機関等から、各国の状況や学術評価システムについて客観的な資料を収集してはどうか。

(4) 平成30年度監事監査報告について（資料8）

小泉監事及び二ノ宮監事から、資料8に基づき、平成30年度監事監査報告について報告があった。

(5) 令和元年度監事監査計画について（資料9）

小泉監事から、資料9に基づき、令和元年度監事監査計画について報告があった。

(6) 大学共同利用機関法人における会計監査人の選任について（資料10）

窪田理事から、資料10に基づき、大学共同利用機関法人における会計監査人として、有限責任あずさ監査法人が選任された旨、報告があった。

以上